

Formula-SAE 部の活動を通して、地元企業からの技術 伝承

教育・研究

地域交流

[代表者] 理工学研究科応用粒子線科学専攻 M1 鈴木 一宏

[連携先]

株式会社小峰製作所、技術伝承塾、マイスタークラブ

[参加者]

鈴木 一宏 (理工学研究科・M1)
富樫 絵里子 (工学部・3年)
西野 創一郎 (理工学研究科・講師)

[プロジェクトの成果]

① 活動実績

2006.8.27 朝日新聞 掲載
2006.9.13 ~ 16 全日本学生フォーミュラ大会参戦 (52 チーム中 29 位)
2007.1.25 NHK 水戸放送局 (地上デジタル) 「いばらきわいわいスタジオ」に出演

② プロジェクトの目的がどこまで達成されたか

地元企業の御指導により、技術伝承をしていただきました。

車両を作成するにあたり、頭を悩ませることが多々ありました。たとえば車両構成部品の設計・製作で、どのような構造にするべきで、どの程度の安全率を設ければ良いかや、私共の使用できる設備では加工の難しいものの加工などの問題です。これら、私共学生だけでは解決することが大変困難な問題を、地元企業であります小峰製作所様にご相談し、大変貴重なアドバイスをいただき、また加工機械や加工場所を貸していただきました。

また、その他の外部の方々にもご指導していただき、技術伝承していただきました。

今は現役を退いており、技術伝承塾という活動をしていらっしゃる、大屋 邦雄氏に、工作機械

を用いた加工方法や図面の書き方の指導等をしていただきました。また、ホンダの OB で組織された、マイスタークラブという団体にもお世話になり、栃木県の茂木にある、その団体の工房をお借りして、大変精度を必要とする、車両のフレームを作成するための台 (1m × 3m という大きなもの) の作成を致しました。

様々な方々のご支援の下、私共は無事に大会に参戦することができました。そして、私共と致しましては、これらの企業・団体に対し、私共の HP でスポンサーとしてリンク・紹介しております。また、毎月発行しているニュースレターにも掲載・宣伝し報告しております。さらに、完成した車両には、企業のステッカーを貼って大会に参戦いたしました。

この活動を通じて、地域の企業や、様々な方々と交流でき、部員は授業では得られない大変貴重な経験を積み、確実に成長することができました。

また、これらの私共の活動を、メディアを通じて PR することができました。

朝日新聞の茨城欄に、私共の活動を掲載していただきました。また、NHK 水戸放送局 (地上デジタル) 「いばらきわいわいスタジオ」に出演しました。茨城大学の部活動として掲載・出演いたしましたので、学校の PR にもつながっていると思います。

③ 今後の計画

次の大会に参戦することは決定し、新たに車両を作成している最中です。今現在、地域の企業との連携という意味で計画していることは、小峰製作所様に設計・加工でのご相談、日立ゲージ工業所様と瀬谷精機製作所様に特殊な部品の加工についての相談をし、技術伝承をしていただき、交流を深めたいと思います。我々の活動を通じて、地域の活性化につながればと考えております。